

## 令和5年度 第1学期始業式 式辞(R5.4.6)

校長 杉本 和博

桜の季節も終わりを迎え、いよいよ本格的な春の到来を肌で感じる頃となりました。3年生 212名、2年生 223名の皆さん、進学おめでとうございます。

いよいよ今日・4月6日から令和5年度が始まります。コロナ禍に終わりが見えてきたこれからの1年は、これまでの「我慢の3年間」と異なり、様々な面で制約のない時間となっていくはずです。本校でも、10日に予定している入学式では、全校生徒がそろって新入生の入学を祝福したいと考えています。また、皆さん自身も「今年は新川地区大会で勝って、県選へ出場するぞ」とか「この1年間で英検3級に合格するぞ」といった目標をもっていることでしょう。

さて、そんな目標に関連して少しお話をしようと思います。

この3月に日本中を熱狂させた出来事といえばWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)でした。右手小指を骨折しながらも華麗な守備を見せつけた源田選手。突然助っ人として現れ、日本チームの士気を大いに鼓舞したヌートバー選手。そして不振が続く史上最年少の三冠王・村上選手を、最後まで信じ続けた栗山監督などなど、話題には事欠かない2週間でした。しかし、その中でもやっぱり一番の話題は、MVPを獲得した大谷選手だったのではないのでしょうか。

この大谷選手は花巻東高校1年の時、「8球団からドラフト1位指名」という目標を立てました。そして監督の教えを受け、「マンダラチャート」という

「目標達成シート」を作り、その道のりをより具体的な「小さな目標」の集まりに置き換えました。具体的に言えば「8球団からドラフト1位指名」という大きな目標を、「体づくり」「コントロール」「キレ」「スピード 160km/h」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」という8つの「中ぐらいの目標」に分解し、さらに「食事夜7杯朝3杯」「ボールを前でリリース」「本を読む」「道具を大切に使う」などなど、更に細かい64の「小さな目標」に分解しました。偉大でとても叶えられそうもない大きな目標も小さく分解していけば、数は多くなりますが、1つ1つを達成することが難しく感じなくなります。

皆さんがもっている夢や目標、その達成にはどれだけの時間がかかるかは分かりませんが、その大きな目標を1年間、1か月、1週間、1日で達成する小さな目標に分解することで、気持ちも軽くなりやる気も出てくるのではないのでしょうか。ぜひ目標達成を目指して、今日から頑張ってください。

最後になりましたが、10日の入学式に向け、会場の準備や式の練習など皆さんに頑張ってもらおう部分も多いと思います。195名の新入生が、温かくやる気に満ちた気持ちで中学校生活のスタートを切れるよう、皆さんの力を発揮してもらいたいと思います。よろしくお祈りします。